

社団法人 国際社会福祉協議会日本国委員会

平成 23 年度事業報告

1. ICSW 本部、北東アジア地域、その他各国会員との連携強化
ICSW2011 年日本国会費の拠出を行った。

年	A ICSW 本部会費収入 (米ドルで概算)	B = C + D 日本国会費 納入合計	C 国庫 負担金	D 本会
2006 (H18)	88,006.00 (2007 年 3 月 31 日現在)	16,520.00 (B/A=18.8%)	9,835.00	6,685.00
2007 (H19)	104,452.00 (2008 年 3 月 31 日現在)	16,520.00 (B/A=15.8%)	8,260.00	8,260.00
2008 (H20)	121,469.00 (2009 年 1 月 29 日現在)	20,000.00 (B/A=16.5%)	8,260.00	11,740.00
2009 (H21)	102,494.00 (2010 年 4 月 16 日現在)	14,400.00 (B/A=14.0%)	9,000.00	5,400.00
2010 (H22)	105,358.00 (2011 年 4 月 16 日現在)	16,768.00 (B/A=15.9%)	9,000.00	7,768.00
2011 (H23)	96,639.00 (2012 年 4 月 30 日現在)	15,264.00 (B/A=15.8%)	7,632.00	5,872.00 (7,632 米\$)

(単位：米ドル、ただし H23 年度本会支払いはユーロ)。

2. 国内外への社会福祉情報の提供

(1) ホームページによる情報提供

国内外向けのそれぞれホームページを運用した。

国内に向けては、ICSW のニュースレター「グローバル・コーポレーション」などの広報を行った。

海外に向けては本会活動など、日本の社会福祉情報を提供した。

(2) 本会図書『イギリス・ドイツ・オランダの医療・介護分野の外国人労働者の実態』（多々良理事他編著、2006 年発行）の頒布

3. 社会福祉分野における国際交流および国内社会福祉関係団体への協力

(1) 台湾訪日視察団の受け入れおよび視察先調整

ICSW 北東アジア地域会長の白氏を中心に、同国の行政および民間の社会福祉関係者 14 名が来日し、日本の高齢者虐待とその保護をテーマとする講義および視察の受け入れ調整を行った。日程は下表のとおり。

日程	午前	午後
9月5日 (月)	本会【講義者：多々良理事】	厚生労働省 老健局 認知症・虐待防止対策推進室
9月6日 (火)	財団法人 東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター	
9月7日 (水)	①京都市長寿すこやかセンター ②京都市菊浜老人短期入所施設	社会福祉法人 健光園 高齢者総合施設 ももやま
9月8日 (木)	社会福祉法人 玉美福社会 地域包括支援センター 向日葵	大阪弁護士会 高齢者・障害者総合支援センター運営委員会 高齢者虐待対応チーム
9月9日 (金)	社会福祉法人 聖徳会 特別養護老人ホーム 大阪老人ホーム	

(2) 国際厚生事業団 (JICWELS) 「社会福祉行政」研修の受け入れ

2011年9月30日に6カ国9名（ネパール2名・マレーシア1名・バングラデシュ2名・スリランカ2名・ラオス1名・ミャンマー1名）に「社会福祉協議会の役割と機能」をテーマに講義を行った。

（講義者：全国社会福祉協議会 野崎 吉康 地域福祉部長）

4. 公益法人制度改革にともなう一般社団法人への移行認可申請

平成24年2月6日に内閣府に対して一般社団法人への移行認可申請を行った。

5. 本会の運営

(1) 理事会の開催

- ① 第123回・第124回：平成23年5月20日
- ② 第125回：平成23年8月31日（文書審議）
- ③ 第126回：平成24年1月12日
- ④ 第127回：平成24年3月8日

(2) 総会の開催

- ① 第91回 : 平成23年5月20日
- ② 第92回 : 平成23年11月1日 (文書審議)
- ③ 第93回 : 平成24年1月12日
- ④ 第94回 : 平成24年3月8日

(3) 監事会の開催

平成23年5月17日